

第14回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

●概要

会議においては、7月28日時点の感染状況において、レベル2のまま据え置くという県の考えは妥当であるとの結論にいたった。

なお、委員の方々からは、様々な立場で御意見があり、具体的には、

- ・病床使用率が50%を超えているが、レベル2のまま据え置くことが妥当である。医療従事者やその家族の感染による影響も評価する必要があること。
- ・重症化例の発生状況は、高齢者の感染状況に関連するので、地域毎の高齢者の感染状況も把握する必要があること。

などがあり、県としては、これらの御助言を今後の感染拡大防止に役立てていくこととしている。